



大阪市廃止⇨都構想

「住民サービス」は

「維持」できません

収入が減らされ、

ばく大なコストがかかる「特別区」。

いまの住民サービスは、

とても「維持」できそうにありません。



そもそも「向上」の話がでてこない

「協定書」に「住民サービス維持を書いてほしい」とは公明党の要求に維新がこたえたものでした。しかし、「協定書」議論では「住民サービス向上」はすっかり消えました。「維持」の保障もありませんが、最大「維持」するためなら、いまのままで十分。「大阪市廃止」などとんでもありません。



「維持」とって「有料化」された「敬老パス」

2011年の知事・大阪市長ダブル選挙で維新の会は法定ビラで「大阪市はバラバラにしません」とか、「敬老パス制度は維持します」と「公約」しました(下の図)。ところが、橋下市長は当選後、「大阪市民はぜいたくしている」として「敬老パス」は「有料化」。

「維持」といっても制度を残すだけで、実際は後退させました。



「維持」は「2025年1月1日時点」だけ?

「協定書」に「住民サービスを維持」と明記しているのは、「特別区移行時」だけ、それから先は「維持に努める」と「努力目標」です。

10月7日、読売テレビ「ten」で、解説委員が公明党の肥後府議に「結局2025年1月1日までのことですね」と問うと、認めざるを得ませんでした。



Q. 3 大阪維新の会は、敬老パスをなくすの? 地下鉄民営化になれば敬老パスがなくなるのでは? *

A. 3. 大阪維新の会は、敬老パスをなくしません。敬老パス制度を維持します。

敬老パスは、市民の税金で利用料金を支払っているため民営化してもなくなりません。さらに高齢者にとって便利なものとするために私鉄でも利用できるように制度にします。

2011年のダブル選挙で配布された維新のビラから

大阪市今昔物語

3

八百八橋



淀屋橋



淀屋石碑

大阪は庶民のまち、歴史と文化と人情があふれるまちです。

江戸「八百八町」、京都「八百八寺」にたいして大坂(大阪)は「八百八橋」と称されました。当時、橋は200ほどしかありませんでしたが、そのなかで幕府が架けた「公儀橋」は「天神橋」「高麗橋」などわずか12。大半は町人が自腹を切って架けた「町橋」でした。「淀屋橋」も、江戸時代の豪商・淀屋が米市の利便のために架橋したのが最初です。

江戸は350ある橋の半分が「公儀橋」だったといえますから、町民の勢いがわかります。